

## 掲載論文における訂正について

Journal of Health Psychology Research 編集委員会

本誌に掲載された下記の論文について、同一データセットの先行論文を適切に引用していないという点において出版倫理上、問題があると認められました。著者全員の同意のもと、下記の情報を記載し、ここに訂正いたします。

「Journal of Health Psychology Research」29 巻 1 号, 25-37 頁 (2016) に掲載された原著論文「ソーシャルスキルが導くアスレティック・バーンアウトの抑制効果—二過程モデルを基にしたバーンアウトの水準によるモデルの比較— (著者: 雨宮怜・上野雄己)」は、既発表論文におけるデータを分析したものであり、本研究で用いたデータセットは、以下の先行研究と同一のものである。

- (1) 雨宮怜・清水安夫 (2012). 運動部活動におけるソーシャルスキル要因の探索的研究: 大学生運動部員版ソーシャルスキル尺度の開発と基本的属性による検討. 学校メンタルヘルス, 15, 87-100.
- (2) 雨宮怜・上野雄己・清水安夫 (2013). 大学生スポーツ競技者のアスレティック・バーンアウトに関する研究: 大学生スポーツ競技者版バーンアウト尺度の開発及び基本的属性を用いた検討. スポーツ精神医学, 10, 51-61.
- (3) 雨宮怜・上野雄己・清水安夫 (2013). 大学生運動部員版部活動適応感尺度の開発: 一部活動内対人交流場面におけるソーシャルスキルとの関連性の検討. 学校メンタルヘルス, 16, 170-181.
- (4) 雨宮怜・上野雄己・清水安夫 (2015). 大学生スポーツ競技者版アレキシサイミア傾向尺度の開発: スポーツ競技者のアレキシサイミア傾向とバーンアウトとの関連性の検討. ストレスマネジメント研究, 11, 8-19.